

令和3年度田川市協働事業提案制度 採択事業

事業名	猿追い出し活動の強化及び猿を近づけない地域づくり事業
事業種別	市民提案型協働事業
提案団体	夏吉 猿追い出し隊
市担当課	農政課
事業予算総額	532,800円
事業目的	・猿による農作物などの被害をより軽減するために、追い出し活動の強化及び、緩衝地帯の見通しを良くし、猿が現れづらい環境づくりを図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隊員の増強。</li> <li>・追い出し隊定例会議を公民館で月一回行う。</li> <li>・情報網の強化のため機関紙「せせらぎ」への掲載を毎月(奇数月5日発行)行う。</li> <li>・猿出現時に出勤可能な隊員(5~10名)が、追い出し活動を実施。</li> <li>・緩衝帯の整備</li> </ul>
審査結果	採択
審査会講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料だけでは、評価が難しいところがあったが、プレゼンを聞いてみて、地域にとっていい事業になると思った。</li> <li>・実際に事業を実施していく際の、具体的な方法がわかりにくい。</li> <li>・竹炭については、地域のイベントの一環として行えば、団体の周知につながるのではないかと思う。</li> <li>・団体の実施能力に疑問があった。団体のそもそもの成り立ちが資料だけではわからないが、事業内容はシンプルなものなので、実施については問題ないと思った。</li> <li>・この事例は、行政に問題意識はあっても、解決が難しい問題。地元の人とその隙間を埋めるような事業なので、協働の理念にかなっていると思える。その部分は高く評価した。</li> <li>・活動の内容や協働の必要性がわかりやすい。</li> <li>・害獣による被害について、行政がどのような問題意識を持っているのかによって、展開が変わってくる。</li> <li>・猿の出現件数や被害を把握しておいた方がいい。</li> <li>・問題や解決方法がわかりやすく、今後のモデルケースになると感じた。</li> <li>・実際に税金を投入するとなれば、猿の出現件数などの、客観的なデータは必要。</li> <li>・団体と行政の協働だけでなく、地元の青年団とも協力するなど、今後の展開も期待できる。</li> </ul>